

評価会議（平成 29 年度中間）における委員の評価及び意見

受託者に対する評価

1 項目ごと評価

項目		A委員	B委員	C委員
地域活動協議会の現在の状況についての分析 (配点 15 点)		1 0	1 4	1 2
画) 企 案 の 提 案 (事 業 計 の 内 容	事業の実施内容（支援策（取組）の内容） (配点 20 点)	1 2	1 8	1 2
	事業の実施体制等 (配点 15 点)	1 0	1 3	8
	今年度の重点支援策（取組） (配点 10 点)	7	9	6
支援策（取組）の実施状況 (配点 40 点)		2 5	3 5	2 4

主な意見等

- ・今年度の事務仕様の変更に対しての適切な実施体制を構築すべきではないか。

2 総合評価

項目	A委員	B委員	C委員
総合評価	B	B	C

主な意見等

- ・区職員とまちセン職員の特性を見据えた役割分担を考慮されたい。
地域の自立が不十分と思うので、支援のスタンスの再考も含め工夫されたい。
- ・この事業の将来的な実施方法も視野に入れて、今期は、区との協働体制のもと、受託事業者の持つ知見やノウハウも最大限に活かしつつ、「地域カルテ」の整備に努めていただきたい。
- ・今年度は「地域カルテ」作成が重要であるが、それは順調に推移しており今後完成するようにしてほしい。ファシリテーションの重要性を理解し取り組んでほしい。

(評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
A：本市の求める水準以上の効果が得られた
B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
C：本市の求める水準の効果が得られていない